

教育後援会報

O. C. U. Education Supporters Association Information

Vol.1
2014

保護者と大学をつなぐ

発行：平成26年2月14日 大阪市立大学教育後援会

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学 高原記念館

TEL.06-6605-3420 FAX.06-6605-3423

URL <http://www.osaka-cu.com/>



巻頭言



教育後援会の役割とは

―保護者と大学の懸け橋として―

会長 金児曉嗣

教育後援会は、大阪市立大学の教育・人材育成活動を支援することを目的として、保護者会員を中心に、卒業生、教職員の協力の下に運営される大学支援組織として設立されました。昨年4月からその新たな活動を開始し、まもなく1年になるうとしています。入会された保護者の子弟に実りある大学生活を送っていただき、大阪市立大学から優れた人材が輩出することを願って、3頁以降に報告しています種々の教育・学生支援関連事業を行っていますのでご覧ください。

教育後援会に課せられたもうひとつの大事な役割は、大学と会員保護者との親睦と交流を相互に深めることにより、保護者の皆さまに大阪市立大学の教育や研究を知っていただき、大学の発展に寄与していただくお手伝いをする点にあります。その先駆けとして、来年度、「新入生保護者懇談会」を5月末に開催することといたしました。第二部の全学懇談会では、学長からの挨拶を始め大学の特色や就職支援への取り組みなどについて、また第二部の学部別懇談会では、学部長の挨拶を始め各学部の特徴や教育方針などについて懇談会を行います。懇談会終了後、学部別に懇親会を開催し、教員と親しく話をさせていただく場を設けます。今後ともこのような交流の場を多く設け、保護者の皆さまに「大阪市立大学のサポーター」となっていただき、大学の発展にご協力賜れば幸いです。

また、革新的な仕組みとして「大学支援協議会」の設置があげられます。大阪市立大学同窓会（以下全学同窓会と略す）と教育後援会はそれぞれに大学および教育・学生支援を行います。それらの事業を円滑に行うために、大学、全学同窓会、教育後援会の三者による「大学支援協議会」が設けられ、三者がお互いに連携と協力を図りながら支援活動を進めることとなりました。大阪市立大学は産業界や官庁へ多くの卒業生を輩出し、さまざまな分野で活躍する多くの先輩を有しています。全学同窓会の協力を得て、これらの先輩と在学生との交流の場を設け、キャリアデザインの形成のみならず、在学生の社会力や人間力を育むことができればと願っています。

教育後援会は、これからも保護者の皆さまのご協力を得ながら保護者と大学の懸け橋となつて、教育・学生支援に特化した組織に相應しい事業を推進することによって、大阪市立大学の学生のさらなる活性化の一助となりたくと考えております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



杉本キャンパス高原記念館



新支援組織「教育後援会」への期待

大阪市立大学長 西澤良記

平成17年から教育・学生支援活動を担われてきた大阪市立大学校友会が、発足から8年経過した平成25年4月に新しい支援組織である大阪市立大学教育後援会として活動されることとなり、まもなく一年を迎えられます。教育・学生支援に特化された組織として改組再編された教育後援会に大学として期待することは、学生の社会性や人間性を育むさまざまな支援活動の充実であります。現在行われている支援活動として、学生の就職活動への支援、学生の勉学活動への支援(TOEICやTOEFL受験料の補助、優秀な成績を収めた学生の顕彰)、学生の課外活動への支援(クラブ・サークル活動への助成、大学祭、ボート祭などの全学的な学生行事への助成)、学生国際交流への助成、研究発表や短期留学のための旅費の補助などが行われています。また、来年度から教育環境整備への支援として、学術情報センターへの学生図書購入費の補助と憩いと交流の場のためのテーブルやベンチ

の構内への設置などの支援事業も行われる予定と聞いております。これらの支援事業は大学の授業ではとすれば行き届かない教育現場において、学生諸君の人格形成を育むことに大いに役立つものと思います。

保護者の皆様との交流も大学にとって大事なことです。親睦と交流を深めることにより大学や教育後援会の活動について関心を持っていただき、大阪市立大学の発展に参画していただければ幸いです。その意味で、教育後援会が来年度から初めて行われる「新入生保護者懇談会」が大学と保護者との親睦と交流を深める場となることを期待しているところです。今後ともこのような交流の場をより多く設けていただくことで「保護者の皆様と大学との架け橋」としてさらに在学生のための活動を広げていただければと願っております。

大阪市立大学同窓会と教育後援会はそのれぞれ教育・学生への支援活動が行われていますが、これらの支援事業を円滑に行うた

めに大学を加えた三者で「大学支援協議会」を今年度設けました。大阪市立大学は産業界や官庁へ多くの卒業生を輩出し、多方面の分野で活躍されています。このことは大学にとつて大きな宝であります。この宝を在学生のために有効に役立たせていただくことは極めて重要であります。教育後援会と同窓会がタッグを組んで、卒業生と在学生との交流の場を設けることにより、キャリアデザイン形成のみならず、学生諸君の社会性や人間力を育んでいただければと期待しております。

現在の大学をめぐる環境の変化は、大変めまぐるしいものとなっておりますが、こういう時こそ、足元をしっかりと見据えて学生への支援活動や大学のこれからの発展を考えていきたいと思えます。われわれ役員・教職員一同もより魅力ある大学となるよう、全学一丸となつて取組んでおります。教育後援会の会員の皆様のご理解やご協力、ご支援をよろしく願いたします。



学術情報総合センターから理学部学舎を望む



学術情報総合センター屋上庭園



理学部新学舎

教育後援会の 支援事業報告

学生の勉学活動への支援

カレッジおよび公開TOEICとTOEFL受験料の補助

昨年4月に大阪市立大学学友会が改組再編され、教育・学生活動支援に特化した機構として大阪市立大学教育後援会が誕生いたしました。この二年間の教育後援会として行ってきた様々な修学支援や学生生活上の支援事業の遂行状況および今後行う予定の支援事業の内容について報告いたします。

学生生活での傷害や災害を補償する保険の加入料を全額負担

「学研災」・「付帯賠償」保険の加入料負担

従来から大学は学生に対して、通学中、授業・実習中、あるいは課外活動中に起こりえる不慮の事故に備えての傷害補償付「学生教育研究災害傷害保険」(「学研災」)に加入するよう指導してきました。本支援事業はこの保険料を教育後援会に入会された学部生および大学院生に代わって教育後援会が負担する事業です。また、学部・学科によつては、実験や実習中に起こり得る他者への傷害事故に備えての「学研災付帯賠償責任保険」(「付帯賠償」)の加入が義務付けられているところもあります。平成25年度事業として、1,428名に、6,848,140円の保険加入料を負担しました。

社会・経済の国際化に伴い、大学においても国際交流や英語教育に力を入れた取り組みがなされてきました。平成19年4月に「英語教育開発センター」が設立されて以後、センターでの教育とともに国際交流や海外での研究発表など英語教育に力を注いでいます。このような英語教育の成果を評価する一つの手段として大学は受講生たちにTOEIC (Test of English International Communication : 国際コミュニケーション英語能力テスト) を奨励しています。また、来年度からは留学に必要な英語の「読む」「書く」「聞く」「話す」の総合能力を評価するTOEFL (Test of English as a Foreign Language : 非母国語英語コミュニケーション能力テスト) の導入も検討されています。教育後援会では、入会された保護者会員の子弟および旧学友会の会員に受験料の一部(カレッジTOEIC 2,000円、公開TOEIC 2,800円、TOEFLは5,000円)を補助します。平成25年度(11月末現在)で133名269,200円を補助しました。

優秀な学業成績を収めた学生の表彰

学業優秀な2年次生に授与される学修奨励賞および卒業生に授与される学業成績優秀賞の受賞者は大学の教育推進本部会議において選考され、学長名で表彰されます。



秋季顕彰式典

教育後援会ではこれらの受賞者に副賞を贈呈し、学生の勉学意欲を育みます。平成25年度は学修奨励賞35名の2年次生に5,000円の図書カードを副賞として贈呈しました。また卒業式には各学部から選ばれた九名の学生に学業成績優秀賞が授与されますが、教育後援会から副賞として記念品が贈られます。

資格試験等で優秀な成績を収めた学生の表彰

教育後援会が行う冬季顕彰式典において公認会計士や税理士の資格試験に合格した学生や、TOEICなどの検定試験で優秀な成績を収めた学生および課外活動で優



冬季顕彰式典

秀な成績を収めた課外活動団体と個人について、教育後援会顕彰委員会で選考し、教育後援会会長名で表彰状と副賞を授与します。今年度は四団体と個人六名および資格試験等優秀成績者三名に平成25年2月14日(金)の顕彰式典で授与しました。

学生の就職活動への支援

教育後援会は、大学の就職支援室がおこなっている広範な就職支援活動(合同企業セミナー・合同求人説明会、21世紀セミナーなど)と同窓会が行う現職公務員および教員のOBやOGとの交流会などをサポートします。

就職支援室が行う合同企業セミナー・合

同求人説明会は、企業の人事担当者や本学のOBやOGを招いて学内で開催しています。これらは年間開催日数が60日以上、参加企業数は800社以上で他大学では見られない大規模なものです。その中でも21世紀セミナーは、多くの企業の方々と大学に招き、産業界や各企業が掲げる「21世紀の新たな豊かさ」について、セミナー形式の講演を行っています。グローバル社会を見据えて講演の一部に英語を取り入れるなど、ビジネス英語にふれる刺激的な機会にもなっています。

また、教育後援会は就職関連図書を学術情報総合センターに寄贈し、就職関連図書コーナーに配架しています。



保護者交流会「最近の就職環境と求められる人材像」

教育環境整備への支援

学術情報総合センター学生選書助成支援

学術情報総合センターが行っている学生選書事業に教育後援会が図書を寄贈し、「教育後援会寄贈図書コーナー」を設けます(平成26年度より実施予定)。

「学生選書」とは、学生のみなさんが「みんなの代表」として大阪市内の本屋さんに「行ってこんな本があればいいのに」、「この分野の本が学情にはない」、「先輩などに読んでほしい」と思う本を選ぶ制度です。この企



保護者交流会 就職支援室長による講演会の様子

画は利用者の視点をライブ感覚で蔵書構成に反映させることを目的としており、近年各大学で取り組みが広がっております。



教育後援会が寄贈した就職関連図書コーナーの一部

教育環境整備に対する支援

本学の構内には团らんや軽食の取れるテーブルやベンチはあまりありません。そこで教育後援会より環境整備として「憩いと交流の場」のためのテーブル・ベンチなどを寄贈します。

また、それらを設置する際に、学生のニーズに对应するために配置場所、整備備品、数量などを学生から提案を募りコンペ方式により決定することを考えています。(平成26年度より実施予定)

大学院および学部学生の研究発表や短期留学のための旅費等の補助

大学院学生向け

修士号や博士号の取得を目指す大学院学生は、専攻分野における最先端の研究テーマに取り組み、その成果を修士論文や博士論文にまとめなければなりません。その際、研究の過程で学会、シンポジウム、研究会等で最新の研究成果を発表し、他の研究者との意見交換や討議を通して自己の研究レベルを高め、より優れた成果を創出する努力が求められています。

しかし、このような研究成果、特に国外での学会、シンポジウム等に参加する費用は大学院学生にとって大きな負担となっています。教育後援会は、このような状況を改善するため、大学院学生の学会やシンポジウム等への参加に要する費用の一部を補助し、その勉強研究意欲の向上と優れた研究成果の創出に寄与するとともに、大阪市立大学の発展に資することを目指しています。平成25年度は38名に1,702,000円を補助しました。

学部学生向け

大阪市立大学は、グローバルな視野をもち世界で活躍する人材を育てるためこれまで外国の多くの大学と国際交流協定を締結しています。これらの大学に留学(語学研修留学を含む)を希望する学生に留学旅費の一部を補助します。なお、本支援事業は、1年以内の留学を希望する学部学生にその支

援を行うものです。平成25年度は、16名に702,000円を補助しました。

学生の課外活動への支援

課外活動は豊かな人間性と社会性を育成するのに大いに役立っています。教育後援会では各種課外活動に要する費用を支援しています。

クラブ・サークル支援

クラブ・サークルの強化育成のための諸経費、公式試合の参加に要する遠征旅費・宿泊費、発表会・演奏会・展示会等、以下の活動に要する費用を支援します。

- (1) 団体の強化育成に要する経費(強化合宿費、指導者・講師の招聘費等)の補助
- (2) 所属する連盟等の公式試合(全国・西日本等の主要大会)に出場するための遠征経費(宿泊費等)の補助
- (3) 国際親善試合や親善公演に要する遠征経費(宿泊費、交通費等)の補助
- (4) 団体活動に不可欠な高額の用具・備品(楽器等を含む)等の購入費の補助(個人使用に供する物品購入は対象外とする)
- (5) 活動成果の発表に要する経費(ホール借上げ費、印刷製本費等)の補助
- (6) 国際交流活動を目的とする学生団体の外国人の受入れに要する経費(外国人の宿泊費・渡航費等)の補助
- (7) 各種ボランティア活動を目的とする学生団体の活動に要する経費の補助

※単なる懇親を目的とした飲食等への使途

は対象外とします。

平成25年度は71クラブ・サークルに7,000,000円を支援しました。



クラブ・サークル支援会贈呈式

全学的に行う学生行事への助成

全学的に行う学生行事であるボート祭、三大学体育大会、市大・府大総合競技大会、大学祭(銀杏祭)、三大学学生研究討論会などの運営費および留学生会の活動・運営費を助成しています。平成25年度は6団体に1,900,000円助成しました。

課外活動で優秀な成績を収めた学生の表彰

優秀な課外活動成績を収めた学生や団体を表彰します。今年度は平成26年2月14日の顕彰式典で表彰しました。

学生国際交流支援

平成25年度における大阪市内立大学に在籍している外国人留学生は学部と大学院を合わせて316名います。異なった文化的、歴史的、社会的背景をもち、生き方や考え方の違う外国人留学生と交流することは、日本人学生にとって、自己の文化、歴史、社会についても改めて認識する機会を得るだけでなく、幅広い国際感覚を身につけ、国際社会で活躍できる人材として成長するためにも極めて重要なことです。本事業は、外国人留学生と交流の場を提供し、交流を通して国際感覚の醸成を図るとともに国際的な人材育成を目的として、大学と共催で「学生国際交流会」を年2回開催しています。4月は新入留学生歓迎交流会、12月は留学生と日本人学生の交流会で、毎回、150名以上の参加者で盛会に行われています。なお交流会の企画と進行は、学生ボランティアスタッフであるOsaka City University Global Member(OGM)により行なわれました。



ボート祭開会式での応援団



学生国際交流会



保護者会員の交流事業

新入生保護者懇談会の開催

新入生の保護者の皆様に大阪市立大学をより深く知っていただくために、新入生保護者と学長をはじめ大学教員との懇談会と懇親会を開きます。第1部は全学懇談会として、学長からの挨拶、大阪市大にはどんな特色があるのか、キャリア形成・就職支援にどのような取り組みをしているのかについて、また第2部は学部別懇談会として、学部長からの挨拶、各学部にはどのような特色があるのか、将来のキャリア形成を見据え、どのような学生を育てようとしているのかなどについて懇談をしていただきます。そして第3部は懇親会として、簡単な喫茶形式の場で学部の先生方と親しくお話をさせていただきます。この事業は平成26年度より新たに実施します。

保護者交流会の開催

この事業では、年数回「保護者交流会」を開催し、保護者会員相互の親睦を図ると同時に、学長をはじめ多くの大学教員と親しく交流し、大学の運営方針や施策、最近の学生を取り巻く環境を知る機会と場を提供しています。10数名で構成される「保護者交流会委員会」で年間行事が企画立案され、講演会や見学会などの「保護者交流会」を開催しています。

平成25年度は、5月に「朝公園バラ園」見学会と講演会、7月に講演「最近の就職環境

と求められる人材像」と懇親会を開催しました。この懇親会には副学長をはじめ殆どの学部長・研究科長にご出席いただき、保護者との和やかな交流の場となりました。9月には「大阪くらしの今昔館見学会と講演会」を開催しました。この交流会では、初めての試みとし、学生サークル「茶道部利休会」の学生(24名)によるお茶席が設けられ、参加した保護者の方から賞賛をいただき、また学生にとっても日頃の成果を発表する貴重な経験となりました。11月には講演「理学部附属植物園の魅力」と植物園見学



保護者交流会「朝公園バラ園」見学

の4回の交流会を実施し、延べ220名が参加しました。平成26年度も魅力ある交流会を計画中です。



保護者交流会 講演会・懇親会の様子

今後の支援事業のあり方についての検討

平成25年度の教育後援会の支援事業内容については、学友会が実施してきた事業を継承する方向で進めてきました。平成26年度以降については、教育後援会としての特色のある事業を展開できるように「支援事業検討委員会」を設置し、現行の事業について見直しを含め検討しました。その結果、(1)今後も継続すべき事業(2)余裕があれば継続すべき事業または他で出来ない場合には

継続して行うべき事業、(3)中止すべき事業、中止する場合は関係者の理解を得るために経過措置等の配慮が必要な事業に仕分されました。

また、保護者会員およびその子弟のニーズを探索し、すでに一部は具体化されているところもありますが、今後、次のような新たな事業企画を具体化していくことが必要と考えています。

- (1) 新入生保護者懇談会―保護者と大学関係者との懇談会。大学全体、学部別を実施。
 - (2) 大阪地域外に居住している保護者への情報発信事業(ネット配信)
 - (3) 大阪地域外での交流会の開催―保護者と大学との交流を深める。
 - (4) 保護者と学生との交流事業―学生の課外活動の紹介や参加呼びかけ。
 - (5) 学術情報総合センターへの学生選書図書購入費の補助事業および就職関係図書を寄贈―教育後援会「寄贈図書コーナー」を設ける。
 - (6) 学生及び保護者の大学に対する要望調査―アンケート等でニーズを把握。
 - (7) 教育後援会のPR活動―教育後援会の認知度の向上と本会加入者の増加を目指す。
- 以上の支援検討委員会の提言を踏まえさらに教育・学生支援に特化した組織に相応しい事業を行なっていきたいと考えております。

評議員会

平成25年度定例評議員会が6月29日(土)大阪市立大学芸術情報総合センター文化交流室で開催されました。

出席者 役員23名

評議員14名(委任状9名)

開会にあたり、金児曉嗣教育後援会長ならびに学長代理として桐山孝信副学長からご挨拶をいただき、その後、議長を選出して議案審議が行われました。

金児曉嗣教育後援会会長挨拶の要旨

●学友会から教育後援会に組織が変わり、初代の会長を仰せつかり、光栄と同時に身の引き締まる思いである。

●最初は、今の私の立場を考えて会長のお引き受けを固辞したが、学友会をつくった責任や経緯もあるし、大学を離れてもこうして市大のために働け、というそのお気持ちもありがたいと思い、お受けした。

●教育後援会という形の組織は、多くの大学で組織されるようになってきた。近辺での大きな組織は関西大学で、教育後援会はずいぶん力を持っている。立派な会館を寄附するなど非常に大きな資産も持っている。

●大阪市立大学の教育後援会も、いずれ力をつけて、そういう組織をめざしていただきたい。

●同窓会は大学と同窓生の心の架け橋の役割を果たし、教育後援会は大学と家庭の心の架け橋の役割を果たすのが本来の姿であると思う。役員、評議員の皆さまにも、そういう方向性をご理解賜れば大変ありがたい。

●今後、府立大学との統合問題の中で、教育後

援会のあり方についても議論になるかと思うが、大阪市立大学の教育後援会の趣旨、目的、理念を達成すべく、邁進してまいりたい。

桐山孝信副学長ご挨拶の要旨

●教育後援会も3ヶ月がたち、保護者交流会などのイベントを既に何回か行っていたにいてる。この後もクラブ・サークルの支援や、優秀な学生の顕彰などの行事を進めて行きたいので、ご支援をお願いしたい。

●先ほど同窓会の話があったが、同窓会も大学を応援していただく組織として、発足させていたかった。

●この教育後援会、全学同窓会と大学がタッグを組んでより良い学生支援、ひいては大学の振興に貢献できれば非常にありがたいと考えている。

●大阪市立大学と府立大学との統合問題など本学を取り巻く状況は非常に流動的で、かつ流れが激しい。しかしこういう時こそ、足元をしっかり見据えて学生の支援あるいは大学の今後の発展を考えて行きたいと思う。皆様方のご協力を是非よろしくお願いしたい。

この後、議長選出が行われ、評議員小西洋太郎を選出。議事録署名名人2名を選出後、議案審議に入った。第1号議案平成25年度事業計画案の件、第2号議案平成25年度収支予算案の件、第3号議案教育後援会役員選出の件、第4号議案教育後援会評議員選出の件、第5号議案教育後援会会則の一部改正の件はいずれも原案通り承認された。

平成25年度教育後援会役員名簿

名誉会長

西澤良記 (現理事長・学長)

会長

金児曉嗣 (前学長)

副会長

松野弘子 (保護者)

塚本喜左衛門 (ツカキグループ取締役社長)

桐山孝信 (現理事・副学長)

理事

宮野道雄 (現理事・副学長)

鈴木洋太郎 (経営学研究科長)

森誠 (経済学研究科長)

長井史男 (法学研究科長)

池上知子 (文学研究科長)

保尊高亨 (理学研究科長)

日野泰雄 (工学研究科長)

荒川哲男 (医学研究科長)

畠中宗一 (生活科学部研究科長)

弘田洋二 (創造都市研究科長)

今中基晴 (看護学研究科長)

橋本秀樹 (学術情報総合センター所長)

玉井金五 (教務担当部長)

富澤修身 (学生担当部長)

監事

西川公朗 (公認会計士)

出口晃弘 (公認会計士)

平覚 (法・教員)

脇村孝平 (経・教員)

代表幹事 湯浅勲 (生科・名誉教授)

常任幹事

梶千鶴子 (保護者)

出口弥生 (元保護者)

加藤典子 (元保護者)

神門登 (同窓生)

藤田敬之助 (同窓生)

有田正文 (同窓生)

南繁行 (特任教授)

大場茂明 (文・教員)

幹事

足立篤美 (保護者)

平吹裕子 (元保護者)

寺田明子 (元保護者)

鳴川敬子 (元保護者)

河合美代子 (元保護者)

山分和子 (元保護者)

富樫宏次 (同窓生)

青野栄一 (同窓生)

畑徹 (理・教員)

福島祥行 (文・教員)

徳尾野徹 (工・教員)

吉田長裕 (工・教員)

平成25年度教育後援会評議員名簿

評議員

山本彦四郎

中川治

山本浩

西和美

山野勝弘

北川雅司

宮本雅弘

塚谷容子

岩間みどり

小森博

佐藤昌子

齋藤厚士

中出政吉

牧野忠廣

木下博明

岡田君仁

小西洋太郎

大西基勝

植田健三

大前秀治

多田和代

辻義隆

中野巨子

三木田敏美

玉置慶子

平成24年度決算報告・平成25年度予算

単位:円

科目	24年度予算額	決算額	25年度予算額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費	61,000,000	58,590,000	22,500,000
寄付金	100,000	28,620	0
KBSクラブ個人負担金	1,100,000	1,130,000	1,000,000
広告料収入	500,000	315,000	0
委託手数料収入	1,500,000	1,500,000	0
受取利息等	20,000	9,275	5,000
雑収入	100,000	42,450	10,000
財政安定準備預金取崩収入			20,223,209
経常収益計	64,320,000	61,615,345	43,738,209
(2) 経常費用			
大学支援事業費	23,000,000	21,796,685	27,800,000
キャリアデザイン・就職支援費	700,000	167,079	2,200,000
TOEIC支援費	800,000	716,670	1,000,000
保険加入支援費	4,400,000	5,048,975	7,000,000
顕彰費	2,200,000	2,179,155	2,100,000
大学院学生旅費等補助費	2,200,000	1,705,510	2,000,000
短期留学支援費	500,000	505,350	600,000
学生国際交流支援費	300,000	280,030	300,000
学部・研究科支援費	1,000,000	800,004	1,000,000
クラブ・サークル支援費	8,500,000	8,010,542	7,000,000
行事助成費	2,100,000	2,300,735	1,900,000
卒業生による大学支援活動補助費			2,200,000
その他支援費	300,000	82,635	500,000
会員サービス事業	6,400,000	5,996,565	3,500,000
入会促進・募金活動費	1,500,000	1,390,879	1,600,000
会議費	1,200,000	1,265,150	500,000
一般管理運営費	9,200,000	11,207,455	8,600,000
大学既存団体交付金	20,600,000	20,600,000	0
什器備品減価償却費	100,000	49,511	100,000
予備費	2,000,000	0	1,500,000
経常費用計	64,000,000	62,306,245	43,600,000
当期経常増減額	320,000	△690,900	138,209
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	320,000	△690,900	138,209
一般正味財産期首残高	34,554,939	34,554,939	33,864,039
一般正味財産期末残高	34,874,939	33,864,039	34,002,248
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	34,874,939	33,864,039	34,002,248